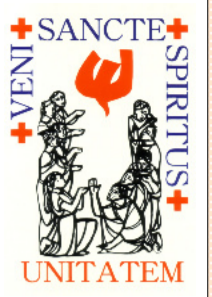


2022年9月18日 (第209号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区:catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.jp
広報:tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成:yousei@takamatsu.catholic.jp
WEB http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



カトリック 高松教区報

マザー・テレサの言葉

互いに愛し合いなさい
この掟を破れば、キリストの教会のすべての活動が崩壊してしまいます。

2022年平和旬間と 「ケアの文化」カリタスキャンペーン



諏訪榮治郎司教

アルゼンチンでは7月20日を『ともだちの日』とし、カードやプレゼントを互いに交換し楽しく食事を共にし、国を挙げて祝う日なのだそう。それは1969年7月20日、アメリカの宇宙飛行士N・アームストロングとB・オルドリンが「アポロ11号」で月面着陸した「広がり」の喜びに感

動したある一人の人の呼びかけから始まったと聞きました。ここにフランス司教が『ラウダート・シ』『兄弟の皆さん』を出された背景を見て取れます。今年の「平和旬間」の主題ミサでルカ福音書12章が読まれます。『主は言われた。主人が召し使いたちの上に立てて、時間どおりに食べ物を分配させることにした忠実で賢い管理人は、いったいだれであろうか。』

確かに言っておくが、主人は彼に全財産を管理させるにちがいない。しかし、もしその僕が、主人の帰りは遅れると思い、下男や女中を殴ったり、食べたり飲んだり、酔うようなことにならなければ、その僕の主人は予想しない日、思いがけない時に帰って来て、彼を厳しく罰し、不忠実な者たちと同じ目に遭わせる。』
この言葉は現代社会を映し出しているようです。教皇回勅ラウダート・シには「総合的エコロジー」ということが強調されています。すなわち「平和・いのち・環境」という地球の諸問題は、全てが繋がっているというものです。人が幸せになるはずの経済政策は、グローバル企業のルーナなき経済活動により、地球温暖化、森林伐採、気候変動、大気汚染、海洋酸性化等を生み、この環境変化は人を移住へと向かわせ難民問題を生み、雇用喪失による生活困難者は、差別と拒否、貧困への連鎖に追い込まれ、人間の尊厳は踏みにじられてしまいます。この格差の分断は対立紛争へと、よって武器の増産・殺戮と敵意・これが悪循環に苦しむ私たちの地球の現

実です。そんな中、国際カリタスは教皇のメッセージ『ラウダート・シ』『兄弟の皆さん』に込め、この傷ついた地球や弱い立場に置かれた人々の叫びに耳を傾けながら、互いを支えあうことを基盤とした「ケアの共同体」づくりを目指します。貧困への取り組み、排除された人々の尊厳の回復、自然保護のコミュニティをつくる

ための「ケアの文化」を築いていこうという呼びかけです。この呼びかけ（キャンペーン）の言葉は「Together We...」です。消費社会が招く「今だけ・金だけ・自分だけ」という「無関心」から抜け出し、「相互協力の新たな社会・共に暮らす地球・共に生きる兄弟姉妹」を目指す文化への歩みを共にしましょうという呼びかけです。

先司教書簡(2021年度)で紹介しましたフランスの経済学者であるJ・アタリ氏の著作『21世紀の歴史』からの呼びかけ、「この後、人類が相互愛を生きなければ私たちの地球はもう存在していけなくなるであろう...」が重くのしかかります。ロゴマーク「Together We...」とは、ともに私たちは立ち上がります・手を差し伸べます・祈ります・心を開きます・耳を傾けます・声を上げます・をうながし

ております。より良い明日のために今日行動をしましょう...との呼びかけです。今回の「シノドス」の質問(誰と歩みますか?声を上げますか?)や「福音マーケット」も重なる福音の歩みです。私たちの社会が「福音のよろこび」に触れることができようように、主が私たちに教会とし、への信頼と希望のうちに、福音と平和の道具として大切に歩み、国際カリタスに

はばたき
先月熊本から友達夫婦が四国を見たいとのことで三崎の旅館に一泊した。次の日は高知の土佐清水・四万十を巡り三崎から帰る予定であった。2日目の日四万十川を上り、途中、中村教会に寄った。
昨日は八幡浜教会でミサを受けるつもりだったが時間を間違えてしまった。中村教会は一度来たことがあるが場所が分からず高山神父様に電話した。ちょうど忙しい時間であった。記憶をたどり教会にたどり着いた。
友達の夫婦は未信者であった。マリア様・イエズス様の御像の前でお祈りをした。その時かすかにベランダの入口が空いているのに気が付いた。
4人は静かに聖堂でお祈りをし、聖書を読み妻が話をした。「私の家は仏教徒であり、旦那と結婚してカトリックになりました。カトリックほど自分たちに合っている教えはないと思ってます」と堂々の宣教活動を始めた。ダンナさんはどう?「私は長崎の生まれで父も爺さんも先祖代々カトリックでした。多分踏み絵を踏んで生きながらえたのでしょう。私の心のどこかに私はキリスト教を信じるものであると言えない」友達夫婦は黙って聞いていた。
私は自分の言葉が旅の間残っていた。



カリタスジャパンのキャンペーンサイト

8月6日(土)、番町教会にて「平和への祈り」という集会在催され、私も参加させて頂きました。平和旬間のイベントとして、原爆投下の日および終戦記念日を目前に控えて、平和及び戦争について考えようというものが催されました。1時間ほどの集会で、前半は高松空襲について体験談とDVDで振り返り、後半はオカリナ演奏と歌で平和を祈るというプログラムでした。

私が強く感銘を受けたのは、森宣子さんの体験談です。森宣子さんの体験談で最後は裸足になりながら本

になった様子。そして、遂に高松が空襲されて、焼夷弾で町中が焼き尽くされた様子。そして、空襲当日、高松市中心部に焼夷弾が投下されていく中で、森さんご家族が現在の高松市役所あたりから西へ西へと歩き、

自分を含め戦争を実際に体験したことがない人にとっでは、「戦争」といっても、それが一人一人の個人にとっでどのようなものかは理解できないと思います。悲惨な戦争を繰り返さないためにも、こうした個人個人の体験を何らかの形で引き継いでいく必要があると感じました。

体験談を聞かせて頂いたあとは、山崎祥子さんのオカリナと河合まゆみさんの歌を聞かせて頂きました。緊張感のあるお話を聞いたあとにきれいな音楽を聴くことにより、平和を享受していることの有難みを、よく感じることができました。番町教会 溝川一郎

「平和への祈り」に参加して 戦争の体験を引き継いでいこう

お話を太平洋戦争が始まったところから始まり、戦局悪化に伴って、日用品が接収され、食料が配給制になって配給の内容も徐々に粗末になっていく様子。空襲が地方都市に広がりを

津川までたどりの着いた様子が始まりました。自分の馴染みのある地名が次々に出てくるため、戦火を逃れていく様子が目に浮かぶほどで、とても緊張感がありまして、最後に助かったところでは、聞いている私もほっとするくらいでした。

番町教会 溝川一郎



森さんの体験を拝聴する

2021年度 宗教法人「カトリック高松司教区」会計 資金収支計算書 (2021年4月1日～2022年3月31日)

支出の部				収入の部 (単位:円)				
科目	教区本部合計	小教区合計	総合計	科目	教区本部合計	小教区合計	総合計	
経常支出の部				経常収入の部				
祭儀費	909,730		909,730	納付金収入	40,135,182		40,135,182	
諸委員会活動費	379,610		379,610	教区納付金(A)	9,493,000		9,493,000	
生涯養成委員会	0		0	教区納付金(B)	22,806,000		22,806,000	
広報委員会	375,610		375,610	教区納付金(C)	7,836,182		7,836,182	
典礼委員会	4,000		4,000	分担金収入	4,668,975		4,668,975	
青少年委員会	0		0	小教区分担金収入	3,135,250		3,135,250	
人権委員会	0		0	その他分担金収入	1,533,725		1,533,725	
諸宗教委員会	0		0	特定献金収入	2,871,199		2,871,199	
エキュメニズム委員会	0		0	世界こども助け合いの日献金	1,076,650		1,076,650	
女性の会	0		0	聖地献金	95,998		95,998	
教区支援事業	0		0	愛の献金	590,518		590,518	
外国人宣教司牧委員会	0		0	広報の日献金	144,333		144,333	
宣教活動費	313,934		313,934	聖ペトロ使徒座献金	125,159		125,159	
助成金支出	6,622,505		6,622,505	世界難民移住移動者献金	170,729		170,729	
小教区助成金	4,622,505		4,622,505	世界宣教の日献金	222,931		222,931	
修道会助成金	2,000,000		2,000,000	宣教地召命促進の日献金	144,881		144,881	
援助事業費	2,822,252		2,822,252	教区献金	300,000		300,000	
人件費教区事務局	33,784,051		33,784,051	一粒会献金収入	2,236,101		2,236,101	
本俸・諸手当	30,570,865		30,570,865	信徒通常献金収入		47,067,503	47,067,503	
法定福利費	3,213,186		3,213,186	教会維持献金		34,059,290	34,059,290	
退職金	0		0	ミサ聖祭献金		11,449,843	11,449,843	
福利厚生費	315,238		315,238	大祝日献金		1,558,370	1,558,370	
維持管理費	4,022,241		4,022,241	特定献金収入		3,621,711	3,621,711	
保守管理費	1,825,624		1,825,624	世界こども助け合いの日献金		151,061	151,061	
水道光熱費	1,693,535		1,693,535	聖地献金		85,998	85,998	
什器備品費	0		0	愛の献金		590,518	590,518	
営繕費	0		0	広報の日献金		144,333	144,333	
園芸費	26,738		26,738	聖ペトロ使徒座献金		125,159	125,159	
損害保険料	476,344		476,344	世界難民移住移動者献金		160,729	160,729	
事務管理費	8,681,227		8,681,227	世界宣教の日献金		202,931	202,931	
事務印刷費	311,326		311,326	宣教地召命促進の日献金		134,881	134,881	
消耗品費	95,697		95,697	一粒会献金		2,026,101	2,026,101	
電話 F A X 料	99,887		99,887	教区献金		0	0	
通信費	447,115		447,115	特別献金収入	27,404,783	38,043,496	65,448,279	
支払手数料	83,777		83,777	祭式献金	2,826,000	9,071,689	11,897,689	
旅費交通費	149,917		149,917	特別献金	10,808,400		10,808,400	
公租公課	684,100		684,100	一般特別献金	1,550,000	18,889,611	20,439,611	
会議費	106,754		106,754	一般献金	12,220,383		12,220,383	
接待交際費	201,814		201,814	営繕献金		4,486,200	4,486,200	
報酬手数料	2,871,000		2,871,000	建設献金		5,245,996	5,245,996	
諸会費	8,000		8,000	特別事業献金		270,000	270,000	
リース料	118,800		118,800	共同司牧収入		80,000	80,000	
自動車諸費	531,442		531,442				0	
修繕費	2,645,310		2,645,310	助成金収入		4,622,505	4,622,505	
賃借料	20,000		20,000	教区助成金収入		4,622,505	4,622,505	
雑費	306,288		306,288	墓地・納骨堂収入	4,138,000	2,195,200	6,333,200	
養成費	1,010,000		1,010,000	非課税永代使用料収入	160,000	0	160,000	
教育費	0		0	課税永代使用料収入	△448,000	1,770,000	1,322,000	
運営分担金	1,010,000		1,010,000	管理料収入	4,426,000	370,200	4,796,200	
会議費	0		0	その他納骨堂等収入		55,000	55,000	
旅費交通費	0		0	補助活動収入		774,144	774,144	
養成援助費	0		0	行事収入		0	0	
宣教司牧費		10,018,554	10,018,554	課税事業収入		285,651	285,651	
特定献金支出		3,621,711	3,621,711	非課税事業収入		488,493	488,493	
世界こども助け合いの日献金		151,061	151,061	雑収入	243,860	136,034	379,894	
聖地献金		85,998	85,998	課税雑収入	2,760	0	2,760	
愛の献金		590,518	590,518	非課税雑収入	241,100	136,034	377,134	
広報の日献金		144,333	144,333	事業収入	1,578,324	8,504,197	10,082,521	
聖ペトロ使徒座献金		125,159	125,159	受取利息配当金	6,324	19,897	26,221	
世界難民移住移動者献金		160,729	160,729	施設利用料収入	1,572,000	648,300	2,220,300	
世界宣教の日献金		202,931	202,931	駐車場収入		7,836,000	7,836,000	
宣教地召命促進の日献金		134,881	134,881	経常収入計	83,276,424	104,964,790	188,241,214	
一粒会献金		2,026,101	2,026,101	財務収入の部			0	
教区献金				固定資産収入	245,000	36,213,047	36,458,047	
納付金支出		37,596,400	37,596,400	基本土地売却収入			0	
教区納付金支出		36,876,400	36,876,400	普通建物売却収入		5,666,198	5,666,198	
修道会等納付金支出		720,000	720,000	建設仮勘定回収収入			0	
人件費支出		0	0	車両売却収入		45,000	45,000	
運営管理費		32,422,554	32,422,554	長期貸付金回収収入		200,000	200,000	
補助活動支出		356,246	356,246	特別目的預金取崩収入		30,546,849	30,546,849	
墓地・納骨堂管理支出		10,000	10,000	固定資産負債収入		0	0	
雑損失		0	0	長期借入金収入		0	0	
非課税雑損失		0	0	その他の財務収入	39,479,572	3,955,881	43,435,453	
経常支出計	58,860,788	84,025,465	142,886,253	未収入金収入		431,386	431,386	
財務支出の部				立替金回収収入		6,584,894	1,356,163	7,941,057
固定資産支出	116,380	51,429,267	51,545,647	仮払金回収収入		4,326,069	6,049,520	
基本建物購入支出	0	12,421,683	12,421,683	預り金収入		4,516,223	863,267	5,379,490
普通建物購入支出	0	0	0	仮受金収入		23,621,000	13,000	23,634,000
建物付属設備購入支出	0	3,448,415	3,448,415	内部取引勘定収入		4,228,659	4,228,659	
構築物購入支出	0	1,242,500	1,242,500	基金勘定収入		414,500	414,500	
祭儀備品購入支出		997,150	997,150	教区事務勘定収入		2,240,548	2,240,548	
器具備品購入支出	116,380	1,201,007	1,317,387	一粒会勘定収入		1,441,751	1,441,751	
長期貸付金支払支出		0	0	墓地納骨堂勘定収入		31,600	31,600	
特別目的預金積立支出		32,118,512	32,118,512	霊性センター勘定収入		100,260	100,260	
固定負債支出		200,000	200,000	資金調整勘定		△190,301	△190,301	
長期借入金返済支出	0	200,000	200,000	期末未収入金		△190,301	△190,301	
その他の財務支出	41,630,780	4,053,061	45,683,841	財務収入計	43,762,930	40,168,928	83,931,858	
立替金支出	6,801,228	1,288,743	8,089,971	収入計	127,039,354	145,133,718	272,173,072	
仮払金支出	4,326,069	1,537,528	5,863,597	前期繰越金	514,494,003	97,169,922	611,663,925	
未払金支出	2,231,600	349,386	2,580,986	収入合計	641,533,357	242,303,640	883,836,997	
仮受金返還支出	23,621,000	13,000	23,634,000					
預り金支出	4,650,883	864,404	5,515,287					
内部取引勘定支出	4,228,659		4,228,659					
基金勘定支出	414,500		414,500					
教区事務勘定支出	2,238,048		2,238,048					
一粒会勘定支出	1,444,251		1,444,251					
墓地納骨堂勘定支出	31,600		31,600					
霊性センター勘定支出	100,260		100,260					
資金調整勘定	△2,492,300	△150,301	△2,642,601					
期末未払金	△2,492,300	△150,301	△2,642,601					
財務支出計	43,483,519	55,532,027	99,015,546					
支出計	102,344,307	139,557,492	241,901,799					
次期繰越金	539,189,050	102,746,148	641,935,198					
支出合計	641,533,357	242,303,640	883,836,997					

続くコロナ禍の影響で2021年度も行事・活動が低下している中、
 教区納付金AB、一粒会献金、特定献金等は、皆様のご協力を得て
 ほほ予算どおりの実績を収めることができ、厚く御礼申し上げます。
 今後とも教区会計の運営・改善にご協力くださいますようお願い申し上げます。
 ありがとうございました。

ベトナムのマリア祭と新しい家族を迎えて

坂出教会

ダン・ゴック・タイン

河上真理

坂出教会にベトナムの信者さんが共同体の一員として在籍されるようになって9年になります。技能実習生として来られている方や、結婚して家庭を持っておられる方など、現在約30名の方が毎週のミサに与り、ミサの後にはオルガニストのシスターを中心にベトナムの聖歌の練習をしたり、行事がある時には準備から片付けまで若い力で貢献して下さっています。又、毎月第4週目のミサではベトナムの聖歌を中心に

歌い、聖書朗読も担当されます。ベトナムのカトリックの歴史は古く、キリスト教が伝来したのは1533年。以後よく広ま



る(1549年)日本のキリスト教伝来より13年も前からの歴史があり、アジアで3番目にカトリック人口が多い国で、現在人口の約10%、800万人がカトリック信者です。又、聖母マリアへの信仰が厚く、教会の敷地内に大きな聖母マリア像が建てられているところも多いです。毎年5月の聖母月はこの教会でもお花捧げとロザリオの祈りがありますが、ベトナムの多くの教会では特別な行事があります。台座にマリア様の御像を固

定し、色とりどりの生花で周囲を飾りつけたものを、正装した若者達が日本の神輿のように担ぎ、聖歌を歌いながら教会まで行列を作って歩くマリア祭という行事です。昨年評議委員であるタインさんから、ベトナムのマリア祭を坂出教会でも行いたいとの提案があり、5月の聖母月の第3日曜日に、ベトナムの信者さんを中心にしたマリア祭が行われました。当日

への信頼と祈りを込めて一礼します。この台座は5月の聖母月の間、祭壇前に置かれ、ベトナムの皆さんが毎週のようにミサの前や後に、お母さんを慕うように祈りを捧げておられる姿がとても印象的でした。来年は、ベトナムでのマリア祭と同じように正装で、よりベトナムらしさを感じて頂けるようタインさんを中心に計画中です。



もう一つ嬉しいニュースがあります。6月に若いお二人が結婚を挙げました。皆さんもどうぞという事でベトナム式の結婚式に初めて出席しました。祭壇には色彩豊かなお花と独特のカットで仕上げた数々のグリーン(葉)が飾りつけられ、これらはすべてベトナムの皆さんが準備されたそうですが、そのセンスとクオリティの高さに感動しました。これを機会に時々祭壇のお花をお願いし、私達もベトナムを、又ベトナムの皆様も祖国を身近に感じていたらいいなと思いました。結婚式の御ミサは、この日のために福岡から駆けつけてくださったベトロ神父様の司式で始まりました。日本の静かな結婚式とは違い、大きな身振り手振り、身体全体を揺らしながら、時には歩きながら教会中に響くような大きな声で、表情豊かに説教とメッセージを伝えるお姿には驚きました。言葉のわからない私達にも神父様を通して神様からのお恵みが、祝福が熱風のように全身



に降り注ぐようで、まるでベトナムの教会で結婚式に参列しているような心より祈っています。

機会を下さったベトナムの皆様感謝！
新しく私たちの仲間であり坂出教会の一員となったお二人が、二組の先輩ご家族と同じように愛にあふれた温かい家庭を築いていけることを心より祈っています。

◇教区スケジュール◇

- 9月
- 1日(木) すべてのいのちを守るための月間
- 2日(金) 岩永千一師命日
- 4日(日) 年間第23主日
被造物を大切に作る世界祈願日
- 8日(木) 聖マリアの誕生
- 10日(土) 日本205福者殉教者
- 11日(日) 年間第24主日
- 13日(火) 司牧者懇談会・司祭評議会
- 14日(水) 十字架称賛
- 18日(日) 年間第25主日
- 19日(月) 敬老の日
- 21日(水) 聖マタイ使徒福音記者
- 23日(金) 秋分の日
- 24日(土) 深堀敏司教命日
- 25日(日) 年間第26主日
世界難民移住移動者の日
- 28日(水) 聖トマス西と15殉教者
- 29日(木) 聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ウファエル大天使
- 10月
- 2日(日) 年間第27主日
- 9日(日) 年間第28主日
- 10日(月) スポーツの日
- 16日(日) 年間第29主日
- 18日(火) 聖ルカ福音記者
- 23日(日) 年間第30主日 世界宣教の日
- 30日(日) 年間第31主日



会でもお花捧げとロザリオの祈りがありますが、ベトナムの多くの教会では特別な行事があります。台座にマリア様の御像を固

は教会の外で行列を作りマリア様の神輿を担ぎ、ベトナムの聖歌を歌いながら教会に入り祭壇の前へ。神父様が祝福された後、祭壇の横に置き、聖体拝領後に聖母マリア様

訃報

聖ドミニコ修道女会 シスター アルベルティーナ丹下令子

1932年 松山市に生まれる
1945年 松山女子商業学校入学 (現 聖カタリナ学園高等学校)
1948年 松山教会にて受洗
1954年 レジオ・マリエ会長
1955年 3月修道会入会
翌年12月療養が一ヶ月に亘った為退会
1959年 再入会 “召命の確信があった。”
1961年 初誓願
1964年 終生誓願 母校で教職 “多忙、超人的な努力が要請された”
1971年 修学長 (松山→東京) 1976年 伊丹修道院院長、修学長兼務
1979年 日本地方区長に選出 (松山) 1982年 日本管区長
1985年 修学長 (松山→東京) 1991年 伊丹修道院院長
“私は人生の中で、数々の先生に恵まれた。・・・イエスの大切な贈りもののように、苦しいことがやがて喜びに通じることになったという体験の繰り返しのよう一連の話となる、喪失と喜びがつきもののようにそこにやって来たという現実が神秘である。”
1996年 松山赴任 1997年 長崎修道院院長 2003年 伊丹修道院院長
2010年 坂出修道院院長 2019年 聖マルチンの園入所
2022.7.12 坂出聖マルチン病院にて帰天 (89歳)
 (“ ” は、姉妹が残されたダイナミックメモリー：私の生育史からの引用)



聖ドミニコ修道女会 シスター マリア・エスペランサ井田元子

1934年 高松市に生まれる
1951年 坂出教会にて受洗
1957年 聖ドミニコ宣教師修道女会に入会し、看護師として、また、幼稚園教諭として、いつも誰に対しても明るく親切に接し、親しみやすく、愉快な、献身的なシスターであった。教会学校でも活躍された
1984年 韓国に本会修道院を創立するために赴任し、27年間奉仕された。韓国と日本の交流の橋渡しとしても多大に貢献された
2022.7.10 約2年間をお世話になった特別養護老人ホーム「聖マルチンの家」(北条)にて老衰のため帰天 (88歳)
2022.7.12 北条修道院聖堂にて葬儀ミサ (主司式 ホピノ・サンミゲル師 共同司式 フェルナンド・マヨラル師)



子どもと女性をまもる委員会

聖職者による性的虐待

相談窓口

電話番号：087-831-6659

相談窓口受付時間
月曜日から金曜日 (祝日除く)
午前9時～午後5時

高松教区対応チーム